



埼玉縣立上尾高等学校

令和2年度 第2号 令和2年6月12日(金) 発行
発行責任者 校長 林 昭雄

分散登校が始まり2週間が経過しました。お子様の心身の変化等、気がかりなことは学校にご相談ください。15日(月)からは週4日、22日(月)からは毎日の登校予定です。

下記の観点で進路に関する指導を行います。自分の人生を考え、主体的に取り組んでくれることを期待しています。3年生については、6月8日(月)に推薦ガイダンス、就職・公務員希望者の写真撮影を行い、6月下旬からは小論文の個別指導も始まります。また、奨学金の申し込みも開始されています。

1年生 自己理解、職業理解を深める

「進路」とは、自分がどんな人間なのかを理解し、どのような生き方をするかを考えることです。豊かで充実した人生を過ごすために、自分の個性を生かせる人生設計を立て、そして実現のために行動をすることが必要です。どの大学・専門学校を選ぶかという「学校を選ぶ」ことだけが進路ではありません。これから何をすればよいのか。1つ目は「進路の視野を広げる」、世の中にはどんな職業が存在するのかを知ることです。2つ目は「自分自身を理解する」、興味関心はどこにあるか、適性はあるのかを理解することが大切です。

2年生 分野・学科理解を深める

大学、専門学校、就職の特徴を理解しよう。そして、将来の目標を達成するためにはどのような進路先を選ぶべきなのかを考える。夏休みにオープンキャンパスに参加したいところですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、オ

ープンキャンパスも人数制限があったり、Webでの説明会や個別相談会に変更されたりしています。調べることは大変ですが、情報を取捨選択し有効活用できることは、将来の役に立ちます。

3年生 今後の予定を確認し、納得のいく活動をする

現在、オープンキャンパスや体験授業などの中止が相次ぎ、学校理解や比較が進んでいないかもしれません。しかし、Web説明会や事前予約のオープンキャンパスを実施している学校も増えてきています。ミスマッチを防ぐためにも学校理解・選択は重要です。進学できればいいというわけではありません。その先のことまでしっかり考えて、受験校を決定してください。

専門学校を考えている人は注意が必要です。

しっかりとした専門学校は、「複数校を比較して、自分に合った学校を選んでください。」と言ってくれます。「すぐエントリーしないとダメです。」「せっかくオープンキャンパスに来たのだから、今日面談していけば。」などと急がせて、考える時間を与えてくれないところは要注意です。**就職希望者は**、面談を経て、7月から、求人票の公開、会社訪問、履歴書準備、面接練習などが、いよいよ本格的にスタートします。

生徒一人一人に配布する「**進路の手引き**」には貴重な資料が掲載されており、その活用を指導しています。保護者の皆様も、ご不明の点があれば、ご連絡ください。

本校では「蛍雪時代」を定期購読し、3年生の各教室に置いてあります。4月号に掲載されていた「先輩たちの年間学習の成功と失敗」から、受験生が振り返って「成功」or「失敗」だったと思うことを参考までにご紹介します。

◆受験計画

- 成功○ ・4月に1か月単位の学習目標を設定し年間の見通しを立てる。
・毎週日曜日に1週間にやるべきことを表にする。
・何月までにこの問題集を終えよう、何周しようと長期的な目標を立てる。
- 失敗× ・とりあえず勉強しているという期間がある。
・別の予定が入っても計画を立て直さず破綻している。
・計画を詰めすぎて予定通り進まない。
・計画が大ざっぱすぎて、無意識に勉強内容が自分の好きな教科・分野に偏る

◆基礎固め

- 成功○ ・スキマ時間に一問一答で基礎知識を習得する。
・単語・文法などは夏までに何度も繰り返し復習する。
・公式の証明や定理の成り立ちも勉強する。
・定期テストを大切に、積極的に先生や友人に聞く。
・1冊の基礎問題集を丁寧に解き、復習に力を入れる。
- 失敗× ・基礎をおろそかにして入試対策演習や難しい参考書に取り組む。
・授業中に内職し、定期テストや予習・復習を軽視する。
・ゆっくり時間をかけて暗記に取り組む（暗記は繰り返す・効率も大切）。
・たくさん問題集に手をつけている（基礎が固まらない）。
・過去問演習が入試直前になってしまう。

◆弱点・苦手分野の克服

- 成功○ ・模試の答案で弱点を確認する。
・苦手な理由（知識不足なのか演習不足なのかなど）を客観的に分析する。
・好きな教科の後に苦手教科をやり集中力を維持する。
・苦手分野ノートを作り間違えるパターンを把握する。
・授業中の面白い話はノートにメモして集中力を高める。
・苦手な科目はわからないところを先生、友人に聞く。
- 失敗× ・苦手科目の復習を後回しにする。
・問題を解きっぱなしで復習しない。
・苦手分野ばかり繰り返し、得意分野を放置する。

◆成績を伸ばす生徒の特徴

- ・目標を貫いた生徒 ・基礎をおろそかにしない生徒
- ・自分の力を客観的に分析し学習方法を修正できる生徒
(自分の成績を客観的に分析できない生徒は苦戦)
- ・自学力と心理的余裕がある生徒は強い
- ・2～3人で真面目に勉強していた生徒
→高め合い、支え合える仲間は大切。ただ人数が多いといつの間にかおしゃべりに…

◆英語外部試験について

2019年11月文部科学大臣が「大学入試英語成績提供システムの導入見送り」を明らかにしましたが、新しい成績提供システムという仕組みを先送りにしただけで、各大学が独自に行っていた受験生の英語外部検定の成績利用は継続されています。2020年度の一般入試では199大学と過去5年で最も多く、利用大学は増えています。推薦・AOでも352大学が利用しています。

◆総合型（AO）・一般入試等の変更点

※入試方式は複雑化していますので、生徒自身の特徴を生かせる大学等の研究が必要です。以下は、少し前の情報ですので、詳しくは今後発表される各大学の情報をチェックしてください。

(1) 総合型選抜（旧AO入試）の変更

- ・中央大―法で「チャレンジ入試」を新規実施
- ・日本大―生物資源科学で総合型選抜を新規実施
- ・駒沢大―プレゼンテーションによる方式を新規実施

(2) 一般選抜の変更

【共通テスト利用入試】

- ・明治大―商の共通テスト利用入試で数学必須の4科目方式に
- ・明治大―国際日本の共通テスト利用入試で数学必須の5科目方式に
- ・早稲田―文・文化構想・商・国際教養で共通テストのみ利用を廃止
(文・文化構想の共通テスト併用入試は継続)
- ・学習院大―共通テスト利用入試を新規実施

【共通テスト併用入試】

- ・青山学院大―個別学部日程（経済と、文・理工の一部方式除く）の独自入試→共テ併用
- ・日本大―生産工でCA共テ併用方式を新規実施
- ・早稲田―国際教養・スポーツ科学の独自入試→共テ併用方式へ移行

【独自入試】

- ・立教大（文以外9学部）で個別学部日程を廃止→全学部日程の試験日を増加
- ・早稲田―商で3方式（地歴・公民型、数学型、英語4技能型）に複線化
- ・青山学院大―経済の個別A方式が2科目に
- ・日本女子大―家政・理の一般個別選抜型で3教科型を追加
- ・駒沢大―グローバル・メディア・スタディーズ学部T方式S方式を2→3科目に（国語必修）
S方式で英語外部検定利用可になった。
- ・法政大―グローバル教養でT日程を廃止し、英語外部試験利用方式で利用方法に得点換算を追加（従来は出願資格）、共通テスト利用方式の出願資格に英語外部検定を追加

【英語外部検定利用】

- ・駒沢大―英語外部試験利用制度拡大
- ・明治大―経営の全学部統一入試で英語4技能3科目方式を新規実施
- ・立教大―全学部日程と智手利用入試で、英語外部検定試験の最低スコア基準撤廃